

# 潜む危険

## 大和町奥田洞谷 土砂崩壊



【写真提供】岐阜県 郡上土木事務所

7月に大和町奥田洞谷の山林で土砂崩壊が発生しました。この崩壊は、平成30年7月豪雨から続いており、岐阜県が監視していました。今回は、予兆が見られたことで、土砂災害ハザードマップの土砂災害警戒区域内の住民に避難指示を発令し、崩壊前には避難が完了していたため、人的、物的被害はありませんでした。8月7日に避難指示は解除しましたが、台風シーズンを迎えることから、緊張した状態は続いており、岐阜県が観測や調査などの緊急対策に取り組んでいます。

このように、自然の猛威を完全に防ぐことは困難です。しかし、近くの山林や河川の危ない区域を事前に確認することで、適切な避難行動につなげることができ、命を守ることに結びつきます。



### ハザードマップで危険な場所を確認

市では、土砂災害や洪水の災害を予測したハザードマップを作成しています。

郡上市土砂災害ハザードマップには、岐阜県が指定した「土砂災害警戒区域（イエローゾーン）」および「土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）」と、避難経路や避難場所等が記載されています。

また、郡上市洪水ハザードマップは、長良川（大和町大間見川合流点付近・美並町美濃市境付近）と吉田川（八幡中学校・長良川合流点）が大雨によって増水し、河川が溢れたり、堤防が決壊したりした場合に、予測される浸水の範囲と水深、避難場所などの情報を示したものです。

ハザードマップは、総務部総務課や各振興事務所、市ホームページで閲覧可能です。ぜひご活用いただき、今後の避難行動の参考にしてください。

※ハザードマップは、浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

